

化学

環境局
環境部
環境対策課

庄司 倭

宮城県大河原町出身
令和2年度採用

環境保全としての規制業務や環境調査、各種分析業務などに従事します。環境や生活衛生に関わる施設の届出審査や立入検査、大気や水質の環境調査、上水(水道)や下水(排水)の分析などにより、市民の健康で安全な生活や、仙台の美しい自然環境を保全する役割を担っています。配属先は、環境局、建設局、水道局、健康福祉局のほか、各区の衛生課などがあります。



市民の健康と美しい景観のために。

「化学」と聞くと、化学室で試験管などを使用し、検査・分析を行う姿をイメージする人が多いかもしれませんが。実際にはさまざまな部署や分野で幅広い業務に携わることのできる職種で、庄司さんは現在、土壌汚染対策法に基づいた規制指導業務に従事しています。土壌汚染対策法は、土地の土壌汚染を見つけるための調査や、汚染が見つかったときにその汚染によって私たちの健



康に悪い影響が生じないように、土壌汚染のある土地の適切な管理の仕方について定めた法律です。「私たちの部署では、対象となる土地の所有者や事業者に対して、汚染土壌が適切に処

理されているか、汚染が拡大していないか調査を行います。具体的には、土地の形質の変更届出書の審査や土壌汚染状況調査の結果審査・調査命令、区域指定汚染土壌の搬出に関する審査・指導を行っています」。汚染土壌は地下水などを通して健康被害をもたらすリスクが大きく、法律そのものの重要性を事業者や市民の方々に知っていただくことが大切だと、庄司さんは強調します。「市民の健康に直結することなので、理解していただけたときはやりがいを感じます。私たちの日々の業務が、健康で快適な暮らしの実現につながっていくのだと実感できますね」。

杜の都・仙台はまちの景観や河川の水質を守るために独自の条例を制定するなど、環境保全に向けた取り組みを数多く実施しています。化学職はその根幹を支える職種であり、庄司さんもまた、大学で学んだ化学の知識を生かしながら、仙台のみどり豊かな景観や環境を守り、今後のまちの発展を支えていきたいという思いで業務に向かっています。「化学職として、幅広い専門知識をさらに習得することが目標。その知識を後輩たちにも継承し、やりがいや楽しさを感じてもらえたらと思っています」。



One day Schedule

- 8:30 出勤
メールチェック
- 9:00 係内打ち合わせ
- 10:00 事務作業
- 11:00 事業者などの窓口対応
- 12:00 昼休憩
- 13:00 事務作業※
(届出書や工事完了報告書の審査など)
- 15:00 事業者などの窓口対応
- 16:00 事務作業
- 17:15 翌日のスケジュール確認・退勤

※係内業務の補助として、排水の採水の立入検査などがあった場合、対象施設での現場作業を行う場合もあります。

Private

小学3年生の頃から野球を続けていて、今は仙台市の野球部と、市職員が結成した民間の草野球チームに所属しています。週末はどちらかのチームで練習や試合に打ち込み、オフシーズンはカフェ巡りなどをして楽しんでいます。